

**福竜丸だより**

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2  
都立・第五福竜丸展示館内  
電話(521)8494

カラ梅雨に支えられ

第4年度出足好調

6月 4,208名

通算 125,404名

主張

# 原水禁統一世界大会に期待

## 現実の核禁止措置を求めて

世界大会統一の気運  
 多年くすぶりつづけてきた原水禁世界大会の統一開催が、去る六月二十九日の統一実行委員会成立によって、曲りなりにも実現するに至ったことはまことに喜ぶべきことです。

人類の生存・未来の運命に重大な脅威を与えている核兵器を完全に禁止するために、いまこそ全世界の国民が、こぞって立ちあがるべきとき、広島・長崎においてさらにビキニにおいて核兵器の被爆国民となった日本人が、その国内における原水爆禁止運動で、幅ひろい国民各層の合意による統一原水禁世界大会をひらき得なかつたことは、自らのイニシアチブの放棄でありました。

いま、遅まき乍ら、統一の現実の端緒をつかむことができた

ことは、ひとり日本の原水禁運動のみならず、世界の原水禁運動にとつて、大きな力を添えるものと考えられます。

世界を動かす統一の力  
 最近、ソ連平和委員会の動きなども、この日本の原水禁運動の統一に一步をふみ出した統一世界大会の実現の見通しなしには考えられないことであり、世界平和評議会その他、国際民主平和団体の統一世界大会にたいする支持も、予想されるどころです。

私どもは、この世界大会の成功を願うとともに、核保有五大国の核兵器完全禁止にたいする現実的な措置を強くもとめるものです。

六月末、東京で行われたサミット会議には、アメリカ、イギリス、フランスの三大核保有国

の首脳が参加していながら、核兵器問題については何らふれられなかったこと、日本政府からも発言がなかったことに、私どもは不満を感じ得ません。

核兵器完全禁止措置を  
 来るべき統一原水禁世界大会の成功のために、私どもも全面的に協力する決意であります。それは単に世界大会が形式的に形の上だけで成立するだけではなしに、実質的に核兵器完全禁止のための措置が、あるいは国連の場において、あるいはそれに代るべき国際会議の場において、合意され、実践されるような道筋をうちたてることが期待されるからであります。

### お知らせ

展示館創立三周年記念管理レポートを未入手の方はハガキでお申込み下さい。



## 第34回理事会ひらかれ 評議員18名を選出

第34回理事会は、七月十一日正午から神田・学士会館三〇七号室で三宅泰雄会長以下理事四名出席のもとにひらかれ、八月の原水禁統一世界大会への参加その他の当面の活動方針を決定しました。

なお、席上左の如き評議員の選出をきめ、それぞれご承認の

### 新刊紹介

ロバート・オールドリッジ著

### 『先制第一撃』

著者はロッキード社の技師で核兵器生産に加担することを嫌って退社し、平和運動に参加した良心的アメリカ人で、原水禁世界大会にも参加したひと。内容は、アメリカ核戦略の全貌とサブ・タイトルが付いている

手続きをとりました(○印新)。

森滝市郎、草野信雄、吉田嘉清、川崎昭一郎、石井あや子、内山尚三、小笠原英二郎、斎藤鶴子、伊東 壮、庄野直美、小野 周、服部学、山口勇子、秋月辰一郎、関屋綾子、猿橋勝子、福島要一

評議員会は九月開催予定です。統一世界大会の協会代表は三宅会長が代表委員となっているので、広田重道専務理事とし、当面、国際会議に参加することに決定。

るように、最近のアメリカの核戦略を、自己の見聞をもとに詳細にしている好著。訳は同時通訳の第一人者・山下史さん。大方の一読をすすめます。

(TBSブリタニカ版・定価二二〇〇円)

### SIPRI

### 核時代の軍備と軍縮

服部 学 訳

スエーデンのストックホルム

### 物理学界の巨星

### 朝永辰一郎博士逝く

ノーベル物理学賞の受賞者というよりも、核兵器廃絶を唱えつづけてきた平和愛好者としてなじみ深い朝永博士は、七月八日、食道ガンで逝去。七三歳。心からご冥福を祈ります。

国際平和研究所(SIPRI)の創立10周年記念の出版物の日本語版として、服部学氏が二年にわたる努力の結晶です。

同研究所長フランク・バーナー博士の序文にもあるとおり「核軍縮が緊急の必要に迫られていること」を立証した科学的な内容で、少くも核軍縮を口にする者は、必読すべき文献です。(時事通信社版 一、八〇〇円)

### 編集後記

●六月は梅雨だというのに日照りがつづき、都内には給水制限というので、夢の島はまっ先に槍玉にあがり、七月九日から水道もチョロチョロの有様、しかし九州の方は大雨になり、被害も少くなかったようです。

●日照りも困るが、大雨も恐ろしい。それもこれも自然をこわし、生活環境を悪化させた結果だと思いが、環境破壊の最大の元凶は核兵器です。それを野放しにしておいては、人類の未来は暗黒です。

●七月から八月にかけては、広島、長崎の悲劇の思い出とともに核兵器問題がクローズアップされる時期です。そのときに、忘れずにビキニ事件も思いおこしてもらいたいものです。

●創立三周年を迎え、展示替えも終り、展示館の内部は見えがえるほど明るくなり、みなさんのおいでを待っています。一度ぜひお出かけください。(H)

# 展示館創立三周年記念祝賀会 各界代表集めて開催



去る六月一日、都立・第五福竜丸展示館が、創立三周年記念日を迎え、これを記念して、一日午後一時半から、日比谷・松本楼で、創立三周年記念祝賀会が開催されました。

祝賀会には、三宅泰雄会長、松山義夫副会長、本多喜美理事など協会役員、平野義太郎、壬生照順、服部学、川崎昭一郎、林茂夫、安斉育郎の各氏、作家の山口勇子さん、俳人の浅野道風さんら、平和協会に關係の深い方々、また、展示館の直接の監督官庁である都建設局南部公園緑地事務所の石井已則所長、同小田博管理課長ら各界から二十数名が出席しました。

同会は、田沼肇理事の司会ですめられ、三宅会長が主催者あいさつ、広田重道専務理事がこの日発行された「都立・第五

福竜丸展示館管理レポート・創立三周年記念号」を基に三年間の経過などについて報告を行なっていました。

この後、日本被団協伊東壮事務局長の音頭で乾杯が行なわれ懇談に入りましたが、福竜丸被災事件当時の貴重な体験談、福

また、この祝賀会には、鈴木東京都知事、自治労静岡県本部などからメッセージが寄せられました。

## 東京都知事よりの祝電

第五福竜丸展示館の創立三周年の記念日に對し、心からのお祝いを送ります。

この小さな船の展示館こそ、被爆国の私たちすべてが守り抜かねばならない平和のシンボルです。保存運動以来、みなさんが寄せられた情熱が、世界平和実現の大きな潮流に向けて、力強い役割を果たされるよう期待します。

東京都知事 鈴木 俊一

## 元福竜丸乗組員

### 見崎 進さんら来館

もと福竜丸乗組員の大石又七小塚博、鈴木隆、細根久雄、見崎進の五氏は、去る七月八日展示館を訪問、それぞれ船や展示物を感慨ぶかげに見学され、広

田専務理事と会談ののち、記念の色紙に署名され、再会を約して帰られました。

なお、見崎氏は、前日に元国立第一病院の看護婦諸岡つるさんらに会い、懇談された由。



## 若さあふれる

### 三周年記念集会



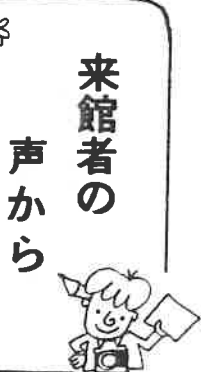
六月二日、午後六時三〇分より、水道橋・労音会館で、記念集会在開催されました。

これには、青年・学生・婦人・労働者など百名を超える人々が参加しました。

集会は、平和協会鹿田敏彦事務局長の司会ですすめられ、三宅会長の主催者あいさつのおと、広田専務理事が展示館三年の経過報告を行いました。

そして、児童文学者の山口勇子さんが「国際児童年と第五福竜丸」と題して約四〇分、記念講演を行いました。

続いて、展示館三周年を記念して製作したスライド「第五福竜丸」を上映。最後に、国鉄東京合唱団のうたごえを聞き、午後九時すぎ散会しました。



## 来館者の 声から

この場所を探すのに都の広報にも何にも出ていないのは残念でした。

昨今、かつての太平洋戦争を聖戦であると言う声が聞かれたが、日本は再び戦争を起こすのではないかと一抹の不安をおぼえる。

今度起き、原爆、水爆、生物兵器が使用されたなら、かつての広島・長崎、この第五福竜丸の形ではすまされない。この日本が地球上からまっ殺されてしまふ。

日本の再軍備反対  
世界の核兵器反対

荒川・深沢

なぜ原水爆が開発されたかをもう一度考えなおしてみよう。それと同時にただ反対のための

反対ではなく、その利用法について考えてみることも必要ではないだろうか。

いかなる存在もその使用方法すなわちそれを使用する人間のあり方によっては、大きな悪にも、また我々の幸福な生活への道具にもなり得るのだから。

結局人間一人の思想と行動が問題になるのだろうか……

そういう意味で俺はこの船を見つめた。

一人ぐらいこういう人間がいてもいいじゃないか？

江東区 水野浩造

保存状態が良く、展示品も分りやすく分類してあったのは感心しました。

第五福竜丸の母港の焼津市民の皆さんは、たくさん見学に来ているのですか？

米国がにくい、ひどいと思うのは昔の事です。但し二度とこの誤ちを繰り返す事のないよう後世に伝えていくのが我々の任務だと思えます。

無記名